

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

F5 アタックなんて、もう懲り懲りだ！

そんなわけで、今回買うチケットは、先行抽選に申し込み。
先着と違って抽選での販売なら、あせらなくていいですもんね。

で、その抽選結果が 15 時に更新されるということなので、14 時 59 分から F5 アタックを仕掛けまくり、
ようやく画面が切り替わったと思ったら「落選」の二文字。

……………。

あ、あれ？

なんかこれ、ものすごくデジャブ？

抽選でチケット買うの初めてなのに、F5 連打して画面が切り替わった直後に非常に落ち込んだ経験が、過去に何度もあるような気が……………。

まあとにかくそういうわけで、一般発売日に、再度 F5 アタッカーになろうと思います。

それにしても、ローソンチケット！

「落選」じゃなくて、「ハズレ」って書いてくれ！

オイラはワナビだから、その二文字を見ると、必要以上にヘコむんだよ！

とまあ、そういう感じで。

投稿中の賞でいうと、次に発表が来るのは 12 月中旬の SD 一次だと思うので、ドキドキしつつ結果を待とうと思います。

まあ、送った順から言うと、一迅社なんだけどね……………！

ザビエル萌えが一次通過できるなら、一休さん萌えだって通過できるはずだ！

というわけで。

一休萌え作品の概要（？）を考えてみました。

【一休萌え作品・概要】

プレイヤーは將軍様になり、会話を選択しつつ、一休と親睦を深めていく。

好感度が一定ラインに到達すると、「トンチ勝負イベント」が発生する。

ちなみに、このトンチ勝負に負けた場合は、一枚ずつ服を脱がなくてはならない。

難関トンチ勝負を勝ち抜き、一休を全裸にすると、待望のエンディングが……！

いけるよ、コレ！

以前ザビエルの入浴シーンが最大の見せ場という作品を書いて、SD で一次通過したから、一休さんと脱衣トンチする作品も絶対に通過できるはず……！

とはいえ、あまりこういう作品ばかり書いて送ると、「常木らくだは頭がおかしい」と思われそうなので、脱衣トンチの話は最終手段にとっておこうと思います。

まあでも、ここ3か月くらい真面目な作品を書いていたので、そろそろ思いっきりふざけた作品を書きたいですね。

先月の作品を書いてかなり疲れたので、ちょっとの間だけ休みますが、中旬頃からまた何か新しいものに取り組みたいです。

次は、どんな作品を書こうかなあ……。

うおおおおー！

ガガガよりも先に、ルルルの発表キター！

と思ったら、ルルルカップの要項の更新でした……。

落ち着け、自分！

よく考えたら、今回ルルル送ってないし！

まあでも、たとえ自分が送っていなくても、血湧き肉躍るのが一次発表というものですよね。

ガガガにもルルルにも送らなかった分、今回は応援に全力を尽くそうと思います。

そしていつの間にか、ルルルブログを飛び出して、トモねえさんの単独ブログができていますね。

よく見たら「賞審査経過報告・講評」なんていうカテゴリーもあるので、ルルルブログ本体とあわせて、今後定期的にチェックしようと思います。

それにしても、次回のルルルカップは、3月締切り。

こんなに早いスパンで開催するなんて、応募総数はわからないけど、ものすごく好評なのかなあ……。

3月末というとビーンズと一緒にですが、今からなら時間も割とあるので、ルルルカップも予定に入れてみよ
うかな、と思います。

まあ、予定に入れるのは簡単だからね！

その予定を全部こなすのは、とっても難しいことだけど！

そんなわけで、ルルルの一次発表を楽しみにしつつ、冬の執筆予定を組んでみようと思います。

先月書いた作品を紙状態で読み直していたら、修正すべき箇所を発見……。誤字脱字ではないけれど、送り仮名の揺れやら、漢字の開きの揺れやら……。

特に漢字の開きって、意識して書かないと、本当に揺れますよね。

自分の中に一応ルールはあるけれど、グレーゾーンにしている単語はその時々によって変えるので、それが本当に揺れる揺れる。

特にどうにかしたいのは、他の動詞から続く「行く・来る」ですね。「寄って行く」とか、「持って来る」とか、「遊んで来る」とか。

単独の「行く・来る」には必ず漢字を使いますが、上の例のように他の動詞とつながる場合、漢字で書くと違和感があったりするので、そこの線引きが本当に難しいなあと思います。

あと、今回見直しをされていて気付いたんですが。誤字脱字や表記揺れって、だいたい、自信のないシーンに多いです。

「このエピソードが書きたい！」っていう見せ場のシーンは、最初からものすごく神経を使って書いているので、あんまり間違わないんですよ。

執筆中に何度も読み直しするから、仮に間違いがあってもすぐに気付くし。

逆に「書きたくないけど進行上必要だ……」と思って書いたシーンは、そこまで自分の文章に自信もなく、読み直しする回数も自然と減るので、結果として誤字脱字が発生しやすくなる、と。

確かにそう考えながら、今までに発生した「致命的な誤字脱字の発見箇所」を思い出すと、だいたい自信のないシーンだわ……。

まあ今回の作品は投稿完了後なので修正できませんが、今後文章のチェックをする際は、自信のないシーンを重点的に見る習慣をつけようと思います。

おかげさまで。

当ブログ「らくだ図書館」は、開設 11 か月を迎えました。

基本的にパントマイムなブログですが、たまに応援のメッセージをいただけたりするので、それが大きな心の支えになっています。

本当に、もうね。

「これからも頑張ってください」とか、「らくださんが受賞することを願っています」とか言われると、「あなたは天使ですか？」と聞きたくなりますよね。

だって……。

どんな作品を書くかもわからないのに、真面目に受賞を願ってくれるなんて……。

そういうありがたい応援を無にしないためにも、らくだは今後も頑張ります。

あとは、アレですね。

最近少し遅れがちですが、「毎日更新」は続けたいです。

小説投稿って別に誰かに強制されてすることではないので、自分の中でモチベーションが下がってしまうと、本当にイヤになってしまうじゃないですか。

そんな時にこのブログを見て、「らくだの奴が頑張ってるから、自分ももう少し頑張ろう」と思ってもらえたら、それは最高に嬉しいですね。

ま、そういうオイラも、そこまで毎日頑張ってるわけでもないけれど、「こういう投稿者もいるんだなあ」と思ってもらえれば。

そんなわけで、「祝・一年！」を目指して、今後も更新を続けていこうと思います。

おそらく誰も気にしちやいないと思いますが。
先日受けた日本語検定は、無事に2級に合格しました。

日本語検定は最初から1級を取ることが目的で、1級を受けるためには2級が必要だから2級を受けたわけですが、うっかり一年もかかっちゃったい……。

まあとにかく、これで受験資格は得られたので、次回は1級を受けようと思います。

それにしても、語彙・読解力検定の方は、いつ1級が始まるんでしょうね。
初回開催時に準1級を取って、それから毎年待っているのに、まだ1級が始まらないという。

それから語学関係の話をする、翻訳大賞！

今日何気なくHPを見に行ったら、アルク翻訳大賞のサイトが更新されていて、第27回から第28回に切り替わっていました。

前回の結果が載るはずの「翻訳辞典・2014年度版」については、今のところまだ情報が出ていないですが、1月中旬には発売されるはずなので結果確認が楽しみです。

あと、いたばし絵本ですね。

いたばし絵本のサイトも更新されて、2月下旬に結果発表ということなので、そちらの方のチェックも楽しみ。

まあね。

これだけ真面目に語学試験や翻訳に取り組んで、自らの日本語力を徹底的に鍛え、そして書く作品はザビエル萌え小説だったりするわけですが。

そんな残念なワナビですが、今後もよろしくお願いします。(ひどいオチだ……)

GA 受領メール着 - 2012.12.07 Fri

本日、GA の受領メールが届きました。

たぶん前にも書いたと思いますが、GA の受領メールの嬉しいところは、筆名と作品タイトルがちゃんと書かれている点ですね。

今はブログをやっているので、らくだと呼ばれることにも慣れましたが、そうじゃなかった時は本当に衝撃的でした。

だって、メールの冒頭に「常木らくだ様」って……！

GA に初めて投稿した時（3 年前）、そのことが恥ずかしくて思わずメールを閉じて、でもやっぱりちゃんと確認したくなって、赤面しながら再度メールを開いたという思い出が。

純情だ……！

純情ワナビだ……！

まあ、今は筆名には慣れましたが、題名を書かれるのはやっぱりドキドキです。

あと、今回初めて複数投稿したんですが、一つのメールに全部のタイトルが入っていて、その辺の手作業感も嬉しかったです。

とまあ、そういうわけで。

発表は 2 月中旬なのでまだかなり先の話ですが、GA は微妙に特定できるような特定できないようなツイッターのつぶやきがあるので、その辺のスリルも楽しみつつ発表を待とうと思います。

これで秋の投稿は完了したから、次の締切りは来年の 3 月だ……！

実に 3 か月以上ありますが、ダラダラ怠けないように、冬の間頑張って書き溜めようと思います。

『東京砂漠』(内山田洋とクールファイブ)という歌がありますが、この歌詞の「東京」の部分で「投稿」に変えて歌ったら、すごく感情移入できるんじゃないかと。

あなたのそばで ああ 暮らせるならば
つらくはないわ この投稿砂漠
あなたがいれば ああ うつむかないで
歩いて行ける この投稿砂漠

投稿砂漠……！

なんて切ない響きなんだ……！

本当に、もうね。

普通の人には「何バカ言ってるの？」と思うでしょうが、投稿経験者さんであれば、この切ない気持ちが絶対にわかるはず！

投稿はまさに砂漠で、つらく苦しく、心が乾燥する一方です。

それならやめればいいじゃん、ってたまに自分でも思うんですけど。
わざわざ砂漠なんかへ行かず、ずっと湖のそばにいればいいじゃん、って。

でもやっぱり、思い通りの文章が書けた時の喜びを考えると、投稿をやめることは根本的に不可能なんですよね。

それはもう、他の趣味では得られない、投稿してなきゃ味わえない感情なので。

そんなこんなで、投稿砂漠からまだまだ抜け出せそうにありませんが、そこは「らくだは砂漠に強いんだ！」と開き直って頑張ろうと思います。

小説はフィクションです。

架空のキャラクターを作って、架空の出来事を書いています。

でもそこで表現する喜怒哀楽その他色々の感情は、まったくのフィクション（作り事）ではなく、自分の経験から出ている場合が多いと思います。

もちろん自分の実体験をそのまま書くんじゃなく、そこはあくまで架空のストーリーに乗せて書くわけですが、最近この「乗せる」能力が身に付いてきた気がします。

自分の好きなこと。

強く信じていること。

大切だと思っていること。

そういう色々なことを、たくさん「乗せた」話を書きたいですね。

一文入魂。

単なる単語の羅列ではなく、商品として提供する以上、言葉以上の価値を持った文章を。

そんな気持ちで投稿したのが先月の作品なので、今回は本当に通過して欲しいです。

うっしゃ！

今この瞬間、死亡フラグ立ったぜ！

投稿完了後に、ブログで作品への想いを語るのは、完全に死亡フラグ……ッ！

まあでも真面目な話、乗せることって、本当に大切ですよね。

SD の選評では「作品に魂を込めろ」と言われましたが、それは本当に、その時の自分が失っていた視点だったと思います。

この乗せる能力、作品に魂を込める能力は、今度もどんどん磨いていきたい部分です。

投稿砂漠のリトル・オアシス「らくだ図書館」へようこそ！

さて。

本日のお題は、ズバリ「書きたい作品か、賞ウケする作品か」。

自分は現在投稿 4 年目なのですが、それぞれの年度を振り返ると、こんな感じだったなあと思います。

2009 年度 書きたい作品を書いて、失敗

2010 年度 賞ウケする（と思う）作品を書いて、失敗

2011 年度 書きたい作品と賞ウケする作品を融合させようとして、失敗

2012 年度 書きたい作品と賞ウケする作品を融合させることに、引き続き挑戦中

だいたい、こんな感じ。

2012 年度になってから書いた作品は、まだ一枚も評価シートをゲットしていないので、何枚か集まってから改めて今年度の評価を決めたいですね。

あとこのデータを見て思うのは、1 年目と 3 年目はまだいいんですが、2 年目に書いた作品がどうしようもないなあ、ということ。

本当に自分の書きたいことを書いた場合、仮に落選しても、その作品をずっと好きでいられるんですよね。

でも賞ウケだけを狙って書いた作品は、落選してしまった時に、自分に残る物がまったく何もないなあ。

もちろん自分が楽しいだけじゃダメだし、賞ウケを狙うあまり自分を曲げるのもダメだし、要はその二つのバランスですね。

この部分の両立については、去年よりもうまくなっていると思うので、引き続き色々な作品を投稿してデータを集めたいなと思います。

本日のお題は、小説を書き始めたキッカケについて。

自分の場合は、アレですね。

以前北京に住んでいた時に、あまりにも娯楽がなかったことが理由です。

だって……。

映画館に行っても中国語だし、本屋に売ってる本も中国語だし……。

そんなこんなで、日本の文化に激しく飢える時期があって、でもインプットの手段は何もないから、それなら自分の読みたい話を自分で書きちゃおう、と。

作者が自分で、読者も自分という、究極の自分プレイ……！

ちなみに最初は「エッセイを書こう」と思ったんですが、エッセイの新人賞って探してもあんまりないんですよ。

逆にラノベの賞はたくさんあったので、そんならラノベ書いて投稿しようか、と。

幸か不幸か(?)、二次元は大好きですし。

語学がある程度できるようになってからは、外出するのが楽しくなって色々な観光名所へ行きましたが(旅行ブログ参照!)、毎日小説を書く習慣はその後も消えることなく、日本に帰ってきた今も投稿を続けている次第です。

あとはやっぱり、「日本語を書きたい」という欲求ですね。

中国語で日常のやり取りはできても、自分の考えを自由に表現できるレベルではなかったので、「自分が考えていることを、細かいニュアンスまで含めて、相手にわかってもらいたい」という欲求があって、それが文章を書く原動力になっているような気がします。

自分の心の中にある、ストーリーを伝えたい。

その願望は今も変わらないので、たくさんの人に読みたいと思ってもらえる文章を書けるよう、日々精進していこうと思います。

うおおおー！

野性時代キタァァァー！

というわけで。

こっそり投稿していた野性時代で、無事一次通過することができました。

ちなみに今回通過した作品は、前に電撃とSDで通過した作品です。

文章がひどかったので、大幅に書き直しましたが、話の骨格はそのままです。

自分では『南国』はラノベだ」と思っているんですが、SDの選評で「コレってラノベじゃないよね」と指摘されたので、ラノベじゃない野性時代に送ってみたら通ったという。

やっぱり、ラノベじゃないのかなあ……。

かといって、一般でもないような気がするんだけど……。

一応主人公は16歳の少年で、ボーイ・ミーツ・ガールな要素も入っていたりするんですが、世界観の設定がラノベっぽくなかったのかもしれない。

不思議要素がまったくない、大航海時代の話ですからね。

ってか、こんな面倒な設定の話は、今では絶対に書かないな……。

最初だからできた、無謀すぎる挑戦だ……。

と、まあ。

通過中の作品への思い入れを、自分のブログで語るという強力な死亡フラグを立てつつ、来月12日の二次発表を楽しみに待とうと思います。

目指せ、一般で二次通過……！

ワナビ的とらたぬ妄想。

- ・ 続編ではこんな展開を書こう
- ・ あとがきの内容どうしようかな
- ・ この絵師さんにイラストをお願いしたい
- ・ この声優さんにこの台詞を読んで欲しい（←受賞どころか、アニメ化とらたぬ）

あと、自分が割とよくする妄想は、
「もし受賞作品が刊行されたら、ここにイラストをつけて欲しい」

絵師さんじゃなくて、シーンの指定ですね。
絵が 10 枚入るとしたら、どの場面にイラストを入れようか、っていう妄想です。

まあそもそも、その辺は作者じゃなくて、編集さんが考えることだと思いますが。

それでも、お気に入りのシーンを 10 個ピックアップして、「ここにイラストを……！」とか考えると、書いた者としては幸せな気分になれますよね。

うん、何？
らくださん、気持ち悪いって？

へっ……！
今ごろ気付くなんて遅すぎるぜ……！

何しろ自分、初投稿時に受賞を確信して、筆名の名刺作った人間ですから！（実話）

そんな黒歴史を披露しつつ、今日のブログは以上です。

しかし「自作のイラストをつけたいシーン 10 個ピックアップ」の作業はとても楽しいので、皆様も是非やってみてください。

皆様は、自分の作品をどう思いますか？
自分で読み返していて、面白いと思いますか？

これはたぶん人それぞれで、すごく面白いと感じる人もいれば、全然つまらないと感じる人もいれば、自分の作品は客観視できないからわからないという人もいると思います。

ちなみに自分は、自分の作品を面白いと感じる派です。

自分の作品を読みながら、笑ったり泣いたりします。
しかも泣く時は、「ほろり」や「じわり」ではなく、マジ泣きします。

そういえば、以前シリアスな作品を書いた際、ラストシーンを読んで涙が止まらなくなり、通りかかった家族に本気で心配された経験が。

まあ、「悲しい小説を読んで」って言ったら、納得してもらえましたがね。

……………。

うっ、嘘はついてないよ！
「自分が書いた悲しい小説」とは、口が裂けても言えないけど！

ちなみにその作品は、プロットで泣いて、執筆で泣いて、推敲で泣いて、読み直しで泣いて、最後に落選して泣くという、残念な末路を辿りました。

まあとにかく、そんなわけで。

自分は自分で書いた作品に対して、いまいち客観視できない部分があるので、そこをまずはどうにかしたいな、と思います。

自分の作品を楽しめるのはいいことだと思いますが、賞の選考を通過するためには、やっぱり作品を客観視する能力って不可欠ですよね……………。

次に書く作品、どうしようかなあ……。

なんというか、先月書いた作品にすべてを出し切った感覚があるので、通過するにしろ落選するにしろ、その作品の結果を知ってから次に書く物を決めたいですね。

これは本当に、初投稿の時からずっと思っていることなんですが。
小説投稿というのはある意味、目隠し野球のようなものだな、と。

今投げた球は、ストライクだったのか、それともボールだったのか。
速さは十分だったのか、それとも遅すぎたのか。

それがまったくわからないまま、一人で延々と、球を投げ続けている感覚ですね。

そうじゃなくて、一球投げるごとに「もうちょっとイン寄りに」とか、「同じコースでもう少し速く」とか言ってもらえたら、レベルアップが格段に早くなると思うんですが……。

まあでも、毎回結果を待ってから次の作品を書いていたら、一年に2~3作程度しか書けなくなってしまうので、自分のセンスでどんどん投げていくしかないですね。

そして、自分のセンスを貫いた結果、『好きです、ザビエル様っ！』が生まれたという。

お前それ、暴投にもほどがあるだろ、っていうね。
ストライクを取る気は最初からなく、相手を動揺させることが狙いです、みたいな。

そんな問題児ワナビですが、色めいたタイトルでリストに載ることが趣味なので、今後も適度に問題作を送っていこうと思います。

そうは言っても、狙いすぎて一次落ちしたら、リストに載れないですからね。
タイトルで遊びつつ、中身もちゃんと感動できる、そんな作品を書いていきたいです。

小学館の発表、こないですね。

ガガガは、毎年伝統的に、12月1日の0時更新だったはずなのに。
そしてルルルは、2年前が12月14日で、去年が12月16日だったはずなのに。

ちなみに、日付けを覚えている理由は、自分が投稿して落選したからです。

そうさ、笑ってくれよ！

ガガガで4作、ルルルで2作、合計6作が小学館で一次落ちしたんだぜ！

……………。

誰にも聞かれていないのに、落選履歴を進んで披露する、いつも通りのドMプレイ。

まあでも、今年は自分は参加しませんでした、ガガガにもルルルにも知っている方が投稿しているので、更新をかなり本気で心待ちにしています。

あとこの時期といえば、スーパーダッシュですね。

SDの一次発表は、「3年前・18日」「2年前・24日」「去年・22日」だったはずなので、下手すると締切りは遅いのに小学館より先なんじゃないかな、っていう。

まあ小学館もSDも、過去の例から考えると、来週更新がくるのはほぼ確実。

しかし金曜日から、北海道に行くんですけどね……………。

旅行を楽しんでいる最中に、スマホで一次落ちを知るとか、リアルにイヤだなあ……………。

それならチェックしなきゃいいんでしょうけど、更新の可能性がある日に公式サイトをチェックしないなんてこと、ワナビ的にはどう考えたって不可能なわけで。

まあ、それより前に発表があることを願いつつ、ドキドキ気分で一週間を過ごそうと思います。

パンパカパーン！

『「青春 18 きっぷ」30 周年記念 旅の思い出コンテスト』で、特別賞をいただきました！

公式サイト

http://www.toretabi.jp/special/18kippu_contest/01.html

交通新聞社さんが主催で、8 月締切りだったこの賞。

タイトルが示す通り、「140 文字以内で 18 きっぷの思い出を語る」というコンテストだったのですが、まさか入賞できるとは考えていなかったもので、本当に嬉しいです。

わーい、やったね！

真冬の島根県で、寒さにブルブル震えながら、3 時間待ちした甲斐があったよ！

しかし大変だったのは、140 文字という制限ですね。

140 文字って……。

1 行 40 文字換算で、3 行半ですよん……。

この旅には色々な苦労エピソードがあって、何故そんな面倒な旅に出たのかとか、下関に着いた後どうしたのかとか、語り始めると本当にキリがないんですけどね。

ページを丁寧に使って書けば、それだけで 80 枚書けそうな勢い。

いつか長編部門が開催されたら、ちゃんと書いて投稿したいです。

とまあ、そういうわけで。

賞の発表ページに自分の文章が載るというのは、書き手として本当に嬉しいことだし自信にもなるので、作品出版に直接的には繋がらないとしても、今後も積極的に参加していこうと思います。

こんばんは。

ツイッターの使い方がわからない、アナログ人間の常木らくだです。

どれくらいわからないかというと、「@ツイート」と「ダイレクトメッセージ」の違いを、リアルに昨日知ったという……。

まずいよ！

だいぶ前にメッセージもらったのに、これじゃガン無視したみたいじゃん！

さっき慌てて返信しましたが、ツイッターの返信も満足にできない、ダメ人間だと思われていないことを祈るばかりです。

いやまあ。

自分がダメ人間であることは、まったくもって事実なんです。

ところで、話は変わりますが、ビーンズの最終結果が発表されましたね！

さすがに最終候補の作品だけあって、あらすじを読むとすごく面白そうなのに、選考委員さんのダメ出しっぷりが……。

最終作品であれだけダメを出すってことは、一次落選の自分の作品なんて、完全に問題外だと思われてるんだろなあ……。

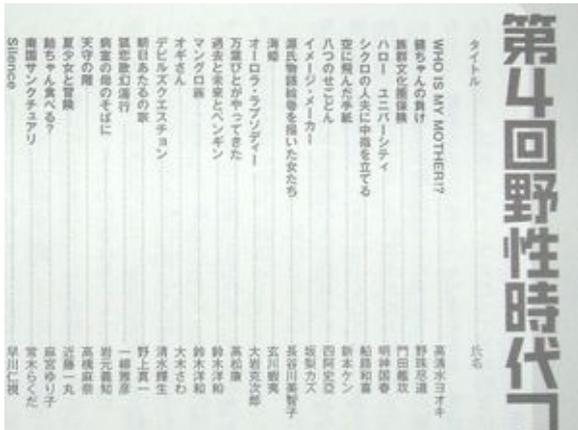
そんなわけで、一人で勝手に落ち込みましたが、次回こそはビーンズにも挑戦したいと思っています。

ビーンズと、電撃と、えんためと、えんためガールズと。

あとルルルカップの締切りと、新設のなろう大賞もありますね。

春までにどれだけ執筆できるかはわかりませんが、できれば全部（！）参加できるように頑張ろうと思います。

野性時代を記念購入！



図書館でも見たけど、せっかく通過したので、自分を励ます目的で購入しました。

HP 発表の方が確認するのは簡単ですが、発表が雑誌オンリーというのも、独特の緊張感があっていいですよ。

本屋へ行くまでのドキドキ感や、雑誌を手にとった時のドキドキ感。
それに、目次を見てから該当ページを開くまでの、手に汗握るあの感覚。

あとは、なんといっても、アレですね。

本屋だと周囲に普通の人々が大勢いるので、落ちようが通ろうが、大騒ぎできないという制約があるわけで。

興奮していることを悟られてはいけない、一種の制限プレイを強いられているようで、地味に燃えるものがありますよね。

いや、変態じゃないですよ！
あくまでも、発表の話ですから！

まあとにかく、通過リストを見ると励みになるので、執筆に疲れた時にそっと本棚から取り出して、自分自身を勇気づけようと思います。

それにしても、二次も通っているといいなあ……。

らくだ図書館、もうすぐ一周年、特別記念企画！

というわけで。

電子書籍の「パプー」で、当ブログの、無料配信を始めました。

Web 閲覧はもちろん、PDF のダウンロードも可能なので、まとめ読みに便利です。

もしよろしければ、覗いてみてください。

【らくだ図書館（電子書籍版）はコチラ】

<http://p.booklog.jp/users/rakuda-tsuneki>

過去の記事をまとめて出力したら、ページがものすごい重さになったので、月別（1月～11月）にわけてあります。

内容はこのブログそのままですが、あちこちクリックしなくていいので、過去の記事を順番に読むのに最適です！

そんな需要があるかはともかく、自分が便利なので、作った甲斐はあったかなと。

「7月10日の記事が読みたい」と思っても、ブログだと過去ログを探すのが大変で、うっかり迷子になりしますもんね。

とまあ、そういうわけで。

一周年企画も無事に終了したので、明日から3日間、札幌へ行ってこようと思います。

次回は週明けに更新しますので、また来週お会いしましょう……！

その頃にはSDの一次発表が確実に出ていそうですが、自分は通っているに違いないと強引に信じ込んで、旅行を楽しんでこようと思います。

北海道へ行ってきたので、写真を何枚かご紹介します。



まずはコチラ、札幌駅の南側。
大丸百貨店の建物が立派ですね。

それにしても、噂通り寒いです……。



上の写真中央の時計を拡大。

文字盤が星になっていますね。
さすが札幌は、駅の時計もメルヘンチック！



札幌のシンボル、テレビ塔。

塔の前の大通公園では、「ミュンヘン・クリスマス市」を開催中でした。

続いては、コチラ！



時計台です。

こちらも札幌のシンボルですね。

高校の修学旅行で来た時は、長期修復中だったので、今回初めて時計台を見ました。

まあ高校の修学旅行って、軽く十年以上前ですが……。



北海道庁旧本庁舎。

雪が積もっていて、雰囲気があります。

ちなみに、街の中はこんな感じでした。



左が公園で、柵の右が歩道なのですが、歩道がなくなっています。

積もり過ぎていて、車道も見えません。

こんなことを言っても、北国の方には「何をいまさら」だと思いますが、雪が降るって本当に大変なことなんだなと思いました。

そんなわけで、今日はこの辺で。

次からは平常更新に戻りますので、引き続きよろしくお願いします。

平常更新に戻る前に、もう一つ札幌の記事を。

真駒内アイスアリーナで開催された、全日本フィギュアを見てきました。



自分の一番の趣味は文章を書くことですが、もう一つの趣味は、フィギュアスケート観戦だったりします。

何故フィギュアを見始めたかという、浅田真央ちゃんと誕生日が一緒だからという、スケートそのものと直接は関係のない理由なのですが。

まあとにかく、テレビで見ているうちに観戦が趣味になって、今は全日本の会場へ足を運ぶようになったという。

それにしても、今年の全日本はすごかったですね！

一応小説投稿ブログなので細かい感想は書きませんが、男子は前評判通り（というか前評判以上？）の大激戦だったし、女子は女子でジュニアの勢いが半端じゃなかったし。

札幌観光もチラリとしましたが、観光せずに全日本を見るだけでも、札幌へ行った甲斐は十分にあったなと思いました。

そして！

次の大きな試合は、2月の四大陸選手権！

チケットはF5 攻撃ですでにゲットしたし、今シーズンの四大陸はありがたいことに大阪開催なので、気合いを入れて見に行こうと思います。

数日前に宣伝した「らくだ図書館・電子書籍版」ですが、ありがたいことに、この週末に 300 を越えるアクセスをいただいたようで。

ありがとうございます！

別に商売じゃないけど、多くの方が見てくださるのは、本当に嬉しいことです！

っていうか、まあ。

3日で 300 を越えるのは、らくだ図書館の力というより、パブーサイトの力ですね。

このブログ本体は、通過発表日でもない限り、一日 100PV を越えたりしませんし。

とにかくまあ、これで電子書籍の作り方はわかったので、今後一か月おきにアップしていこうと思います。

それにしても、今って本当に、便利な世の中ですよ。

このシステムを使えば、自分の作品を電子書籍にして販売できるわけで、誰でも自由に作品の刊行ができるじゃないですか。

まあ自分は賞で認められて本を出したいので、自分の作品を電子書籍にして売ることはないと思いますが、こういう情報発信の方法も世の中にはあるんだなあ、と。

そんなわけで、一つ勉強になった感じです。

あと、誰でも自由に情報発信ができるからこそ、自分の文章や発言内容には責任を持たなきゃな、とも思いました。

らくだ図書館も基本的に「ひとりごとスタイル」ですが、自分の考えを一方向的に押しつける文章にならないよう、投稿者の皆様に愛されるブログを目指そうと思います。

そろそろ年賀状を作ろうと思って、ハガキをセットしてプリンターの電源を入れたら、問答無用で書きかけの小説が印刷された件。

いやあああ！

やめてえええ！

たぶん前に原稿をプリントした時のデータが、待機状態でプリンターに残っていたんだと思いますが、おかげで自分の小説が年賀状に印刷されてしまいました。(実話)

……………。

いっそ、このまま送りますかね？

この年賀状を送りつけて、「実は前からワナビでした」と、カミングアウトするとか。

でも、小説が印刷されたの、住所の側なんですよねぇ……。 (ダメじゃん)

そんなわけで、年賀状を一枚無駄にしたわけですが、もしかすると当選するかもしれないので、抽選日までとっておこうと思います。

しかし、アレですね。

このハガキを見せたら、郵便局のお姉さんに、変態だと思われそうですね。

「住所欄に自分の小説を印刷とか、頭おかしいんじゃないの？」みたいな。

まあ別に、思われてもいいですけど。

そんなこんなで、相変わらずのヘタレワナビですが、来年もよろしくお願いします。

それにしても、SDの発表遅いですね……………。

もしかすると、年内更新はないのかなぁ……………。

心に届く景色 - 2012.12.25 Tue

旅の思い出コンテストの賞品、18 きっぷが送られてきました！

コレ、嬉しいですね。

発表を見た瞬間は、賞品があると思っていなかったなので、余計に嬉しいです。

それにしても、ローカル列車の旅は、味があっていいですよ。

あれは、どこだったかなあ。

島根県の西の方にある、山陰線の駅なんですけど。

駅名はちょっと忘れたんですが、断崖絶壁に小さな無人駅があって、そこから見える日本海が本当に半端じゃなく綺麗で。

ただ「ここで降りて写真を撮りたい！」と思っても、次の列車が3時間後とかだったりするので、下手に降りられないのがローカル線のツライところ……。

まあでも、あの日本海を見た時は、心の底から「負けた」と思いました。

何に負けたのかわかりませんが、本当に、自分の想像を越える綺麗さだったので。

こういうコンテストに投稿する場合、どうしても「地元の人との出会い」を書いてしまいますが、「景色との出会い」もそれと同じくらい大切です。

言葉にすると地味ですけど、「心に届く景色」って確かにあるし、時には景色に感動して涙が出ることもあるわけで。

そんなこんなの、旅の思い出コンテスト。

来年もあるのかはわかりませんが、またこういう旅行関係の公募企画があれば、是非とも参加したいと思います。

スーパーダッシュの一次ですが、結局のところ、年内更新はないみたいですね。

そうか……。

今回は年明けか……。

別に12月発表と明記されているわけでもないから、怒る権利なんて全然ないんだけど、何だかすごく肩すかしを食らった気分。

まあでも、いっか。

仮に先週の金曜日に発表されていたら、全日本フィギュアの会場で一次落ちを知ることになったかもしれないので、そんな事態が起こらなくてよかったです。

しかしこうなると、来月は毎週発表があるという、ものすごい事態に。

一週目 スーパーダッシュ

二週目 野性時代

三週目 アルク

この3つは、確実ですね。

野性とアルクは雑誌で発表だから、更新が遅れることもないだろうし。

あと、こっそり送った一迅社も、経過発表があるなら来月のはずなので（最終が二月ですし）、毎日気の抜けない一か月になりそうです。

とまあ、そういうわけで。

どこで何が通過するのか、あるいは通過しないのか。

いつもそればかり騒いでいるように思えますが、それがワナビの本分(?)だと思うので、来年もこんな感じでやっていこうと思います。

近ごろ更新が途絶えがちで、心配してくださっている方へ。

ご心配なく！

常木らくだは生きています！

冒頭に生存宣言がある、そんな小説投稿ブログ。

しかし自分は、何をやっているんでしょうね……。

去年の開設以来、毎日更新を続けてきたのに、最後の5日で力尽きるという……。

まあとにかく、そんなわけで。

ちょっと日付けが遅れてますが、ブログをやめたわけではないので、引き続き見に来てくださると嬉しいです。

ちなみにこのブログの特徴は、「何度も見てくださる方が多い」ということ。

去年までは旅行ブログをやっていたんですが、その時は「一回来て、たくさんのページを見て、それっきり」というパターンだったんですよね。

逆に投稿ブログになってからは、「トップページしか見ないけど、頻繁にチェックしてくれる」という方が多いようで。

まあアクセス解析もそこまで正確ではないですが、その傾向は確かなので、その部分は本当に嬉しいし励みになっています。

というわけで、皆様どんどんアクセスを！

……なんて宣伝しなくても、勝手にPV数が増えていくのが、本当にいいブログなんだろうけどね。

そんなブログになれるよう、そして「あの人の文章がまた読みたい！」と思ってもらえるよう、これからも精進していこうと思います。

ルルル 一次発表 - 2012.12.28 Fri

ルルルの一次発表を見てきました。

応募総数 136 本
一次通過数 38 本
通過倍率 約 27.94 %

という結果でしたね。

一次通過された方々は、おめでとうございます！
そして、二次もどうか通りますように！

それにしても、タイトルを見ていると……。
カギカッコ「」付きの作品が、やけに多い気がするんですが……。

これは、何なのでしょうね？

作者がなんらかの意図を持って、タイトルに「」を付けることはあるだろうけど、それにしても不自然に多すぎるような気がする……。

要項がそうだったのか、あるいは今の流行なのか。
真相はわかりませんが、まあとにかく、二次を見守りたいと思います。

そして危惧していた SD ですが、やはりと言うか、年内更新はありませんでした。

こうなると、有力候補は 1 月 4 日？
それとも、正月明け早々は無理だから、二週目？

まあどうなるのかはわかりませんが、焦っても結果は変わらないと自分に言い聞かせつつ、発表を待ちたいと思います。

ルルルの話をもう一つ。

ルルルブログの最新記事に、読者からのファンレターの写真が載っているんですが、それを見て思わず萌えました。

気になった方は、今すぐルルルブログへ！
作家を目指している身なら、きっと萌えるはずですから！

やっぱり、ほら。
ルルルのメイン読者といえば、中学生や高校生といった、若い女の子じゃないですか。

だからこそ、封筒がピンクだったりキャラ物だったり、そして宛名の字もかわいかったりして、思わずドキッとしますよね。

そんなわけで、写真をよく見たくてクリックしたけど、それ以上は拡大表示できなかったという。

……………。

いや、変態じゃないですよ！
高校生に萌えているんじゃなく、手紙に萌えているだけですから！

まあとにかく、あんな感じの手紙をもらって、「〇〇のキャラが好きです」とか「〇〇のシーンに感動しました」とか具体的に書いてあったら、たぶん相当嬉しいだろうな、と。

もちろんすべての意見が好意的だとは限りませんが、でもやっぱり、早く発信する立場になりたいなあと思いました。

2013年こそは、そうなりたいですね。
なんか最近、記事の締め方が毎回同じですが、そうなれるように頑張ろうと思います。

小説を書く一番の理由って、いったい何なんだろう？

答えは人それぞれだと思いますが、自分の場合は文章を書きたいからです。

もちろん「キャラを書きたい」という気持ちもあるし、「ストーリーを書きたい」という気持ちもあるんですが、一番の理由は「文章を書きたい」に尽きるなあ、と。

逆に言うと、文章を書けるなら、小説である必要はないんですよね。
翻訳でもいいし、エッセイでもいいし、それこそブログでもいいし。

だからこそ、……かなあ？

「文章を書きたい」という気持ちは誰にも負けない自信があるけど、「キャラを書きたい」「ストーリーを書きたい」という気持ちに関しては、自分は周囲の投稿者さんにかなり負けているように思います。

別に特別な根拠があるわけではなく、漠然とそう感じているだけですが。

ただ、文章に関しては偏執的なほどこだわりがあるのに、キャラやストーリーに関しては貪欲になりきれず、ある程度のレベルで妥協してしまっている自分がいるなあ、と。

そのあたりが、二次を越えられない理由なのかなと、勝手に自己解釈してみたり。

2013年はその辺を克服して、さらに上を目指したいですね。

しかし正直な話、一次で総落ちして落ち込んでいる自分も、そんなに嫌いじゃない……というかむしろ好きです！

小説執筆について真剣に考える前に、まずはそのドM体質を卒業しろよ、っていうね。

そんな「らくだ図書館」ですが、これからもよろしくお願いします。

当ブログ「らくだ図書館」は、本日で一周年を迎えました。

本当にありがとうございます。

ここまで毎日続けてこられたのは、読んでくださる方がいたからです。

最初は「投稿ブログで毎日更新なんて無理」と思っていたのですが、書き始めて割とすぐ（3か月くらい？）に、旅行ブログの総アクセス数を越えたので、そのことがおおいに励みになりました。

まあ「旅行ブログが面白くなかった」というのもありますが！

真面目な話をしている最中に、自虐に走るのは、このブログのデフォルトだ！

コホン。

とにかく、一年も続けられたのは、本当に嬉しいことです。

すでに作家という立場ならともかく、投稿者である自分が小説書きについて語っても、「コイツ何様のつもりだよ？」と思われてしまうかな、と。

最初はそう思っていたので、本当にアクセスがなかったら、公開をやめて個人的な日記にすることも考えていたんですね。

自分は基本的にドMですけど、やっぱり、見苦しい存在にはなりたくないですし。

そんな不安と共に始まった当ブログですが、「読むと執筆意欲が湧きます」と言ってもらえて、逆にこっちが励まされた回数がいかに多いか。

自分が文章を書くことで、たくさんの人と繋がれるって、とても素敵なことですよね。

そういうわけで、2012年は本当にありがとうございました。

今後も力の続く限り更新を続けますので、引き続き訪問してくださると嬉しいです。

常木らくだ